

第43期年次報告書 2014年1月1日~2014年12月31日



今期は必ず黒字化を達成 再建計画施策実施ほぼ完了 原価低減で利益確保



代表取締役社長 池田 俊夫

- 製造原価の低減、固定費等の削減
- ・工程管理の徹底
- ・不採算事業の見直し

ト業績及び事業報告

2014年は前年からのアベノミクス効果による円安・株高が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。半導体関連業界につきましても、2013年後半から設備投資を再開したファウンドリや大手半導体メーカーの底堅い投資の継続により、順調に推移いたしました。特に台湾において積極的な設備投資が続いております。当社グループの業績につきましては、売上高は2年連続の増収となりましたが、利益につきましては、短納期等に対応するための費用の増加や、当社グループが保有する

1

「のれん」の減損損失計上などにより多額の赤字計上となりました。

▶今年度の見通し

今年度は、絶対に黒字化を達成するという強い決意をもって臨んでおります。プロセス機器事業での前年度からの期初受注残が約51億円ありますが、これらの案件で確実に利益を計上できるよう原価低減を進めてまいります。さらに、比較的利益率の高いオプション案件の受注や、金型・樹脂成形事業での売上を伸ばしていき、必ず黒字化を達成できるよう全力で頑張ってまいります。

現在、ベトナムの子会社であるTAZMO VIETNAM CO.,LTD.が好調で、タツモ以外からの組立・加工 の依頼が増加しており、従業員も増員しフル稼働で 対応している状況であります。タツモ製品の原価低 減以外にも、今年度の業績に大きく寄与してくれる と期待しております。

また、昨年9月に公表いたしました再建計画に基づき、製造原価の低減、工程管理の徹底、固定費・諸経費の削減、不採算事業の見直しなどを実行してまいります。

具体的には、製造原価の低減につきましては、前年 度の希望退職募集の他、売上に直結しない基礎的な 研究開発の削減や調達方法の見直しを行ってまいり ます。工程管理につきましては、生産管理部を新設し、 これまで以上に設計·製造の工程管理を徹底し、予算 との乖離が発生しないよう管理を強化してまいります。 固定費・諸経費の削減は、役員報酬の削減、賞与の減 額、広告費・出張手当・外注費の見直し等を行いまし た。今後も経費圧縮を継続してまいります。不採算事 業の見直しにつきましては、プロジェクト事業の廃止 や、海外子会社であるTAZMO KOREA CO..LTD. (韓国)の解散、台湾支店を連結子会社である亞普恩 科技股份有限公司へ統合などを行いました。これらを 継続して実行し、早期に赤字体質から脱却、業績を黒 字化できるよう、努力してまいります。

▶株主の皆さまへ

3年連続の多額な赤字計上、無配となり株主の皆さまには大変ご心配をおかけしております。今年度は必ず黒字化を達成するべく、全力で頑張ってまいりますので、今後とも、株主さまのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶ 2014年度 連結業績

当社グループは顧客ニーズに対応した装置開発と新規の顧客獲得のため、 積極的に営業活動を展開してまいりました。しかしながら、短納期等に対応 するための費用が見込みよりも大幅に増加したことや、当社グループが保 有する「のれん」について、当初事業計画で想定した超過収益力が見込 めなくなったため、減損損失を計上いたしました。

このような状況から業績を回復させるため、2014年9月に公表した再建計画に基づき各対応策を実行しておりますが、その効果が表れるには至っておりません。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は8,626百万円(前期比24.0%増)、営業損失1,537百万円(前期は営業損失1,140百万円)、経常損失1,484百万円(前期は経常損失1,038百万円)、当期純損失1,943百万円(前期は当期純損失971百万円)となりました。

2014年度 連結業績

	2014年度	ご参考				
	当連結会計年度 自 2014年 1月 1日 至 2014年12月31日	前連結会計年度 自 2013年 1月 1日 至 2013年12月31日	対前期増減率			
売上高	8,626 百万円	6,959 百万円	24.0%增			
営業損失(△)	△1,537 百万円	△1,140 百万円	-			
経常損失(△)	△1,484 百万円	△1,038 百万円	_			
当期純損失(△)	△1,943 百万円	△971 百万円	_			

▶ セグメント別概況

プロセス機器事業

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、価格・納期ともに厳しい状況が続いておりますが、半導体メーカーの設備投資が増加基調にあるため、当連結会計年度の売上高は2,135百万円となりました。

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、半導体業界は回復傾向にありますが、ユーザーの後工程での設備投資が消極的なため、当連結会計年度の売上高は1,012百万円となりました。

洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、利益面では 第41期 第42期 第43期 厳しいものの、積極的な営業活動により、当連結会計年度の売上高は1,560百万円となりました。

■液晶製造装置

■搬送装置部門

洗净装置部門

4.448

3.309

1.139

半導体関連機器

半導体装置部門

(百万円)

6.942

2 234

1.560

1,012

■コーター部門

5.446

572

1,400

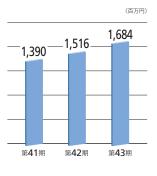
1.760

コーター部門

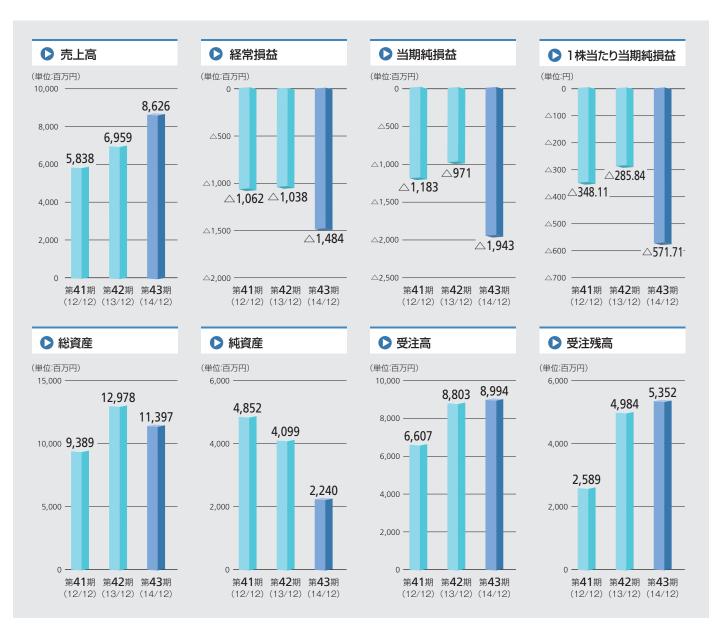
コーター部門につきましては、スマートフォンやタブレット端末用の液晶パネルの需要は続いており、中国向け装置が売上計上となり、当連結会計年度の売上高は2.234百万円となりました。

金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、競争激化のため、納期や製品といては依続いては依然続いては依然続いないますが、デジタルをでありますが、デジタはといるでは移しておりますが、デジタはをしておりませがありませがありました。



財務ハイライト(連結)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

建和貝伯列 照教			
前連結会計 年度末 (平成25年12月31日)	当連結会計 年度末 (平成26年12月31日)		
7,881	7,168		
5,097	4,228		
12,978	11,397		
7,956	8,139		
922	1,017		
8,879	9,157		
3,873	1,930		
1,395	1,395		
1,909	1,909		
570	△ 1,373		
△ 0	△ 0		
187	265		
12	_		
174	265		
38	43		
4,099	2,240		
12,978	11,397		
	年度末 (平成25年12月31日) 7,881 5,097 12,978 7,956 922 8,879 3,873 1,395 1,909 570 △ 0 187 12 174 38 4,099		

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自平成25年 1月 1日) 至平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自平成26年 1月 1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,959	8,626
売上原価	5,792	8,049
売上総利益	1,166	576
販売費及び一般管理費	2,307	2,114
営業損失(△)	△ 1,140	△ 1,537
営業外収益	151	114
営業外費用	49	61
経常損失(△)	△ 1,038	△ 1,484
特別利益	156	76
特別損失	65	529
税金等調整前当期純損失(△)	△ 947	△ 1,937
法人税、住民税及び事業税	20	17
法人税等調整額	3	△ 11
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 971	△ 1,943
当期純損失(△)	△ 971	△ 1,943

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要(2014年12月31日現在)

商 号 タツモ株式会社

本 社 所 在 地 〒715-8603 岡山県井原市木之子町6186番地

設 立 1972年2月

資 本 金 1,395,240千円

事 業 内 容 半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型及び 樹脂成形品、プリント基板検査装置などの開発・製造・販売

従業員数257名(連結686名)

営業所:工場及び支店 第二工場:第三工場:第五工場/東京営業所

子 会 社 プレテック株式会社

アプリシアテクノロジー株式会社

TAZMO INC.(米国)

上海龍雲精密機械有限公司(中国) 大連龍雲電子部件有限公司(中国)

TAZMO VIETNAM CO.,LTD.(ベトナム)
* TAZMO KOREA CO.,LTD.(韓国)

亞普恩科技股份有限公司(台湾)阿普理夏电子科技有限公司(中国)

主要取引銀行 株式会社中国銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行

※TAZMO KOREA CO.,LTD.は、2014年12月15日付で解散を決議し現在、清算手続き中であります。

▶ 取締役及び監査役(2015年3月27日現在)

代	表取	締	役社	長	池	田	俊	夫
常	務	取	締	役	亀	Щ	重	夫
取		締		役	藤	原	壽 太	郎
取		締		役	上	田	修	治
取		締		役	河	上	賢	=
取		締		役	大	Щ	邦	雄
常	勤	監	査	役	山	本	正	治
監		査		役	瀧	本		博
監		査		役	佐々	木		健

▶ 株式の状況(2014年12月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数	13,600,000株
発行済株式の総数	・3,400,000株
株主数	2,203名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	745,000 株	21.91 %
東京応化工業株式会社	360,000	10.58
タツモ従業員持株会	179,800	5.28
中銀リース株式会社	101,500	2.98
鳥越 琢史	85,000	2.50
株式会社中国銀行	74,500	2.19
鳥越紀男	70,000	2.05
中銀カード株式会社	60,000	1.76
中銀保証株式会社	60,000	1.76
仕田原 仁志	49,300	1.45

■ 個人・その他 …… 2,122名 ※自己株式は個人・その他に 含めて記載しております。

■ 信託銀行……

■ 生命保険会社 ………

損害保険会社 ………

■ 外国法人等 ----- 8 名



2名

2名



所有単元数別

株主分布

2,203名

※自己株式 509 株は 5 単元以上に 含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒715-8603 岡山県井原市木之子町6186番地

▶ 株主メモ

度 毎年1月1日から12月31日まで 年

定時株主総会 毎年3月

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

連 絡

先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 $(\mp 541-8502)$

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

- ●お問い合わせ先
 - 0120-094-777(フリーダイヤル)
- ●各種お手続き用紙のご請求 0120-684-479(フリーダイヤル) 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託 銀行のインターネットでも24時間承っております。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/

公告掲載新聞 日本経済新聞

「手続き書類のご請求方法]

- 音声自動応答電話によるご請求
- インターネットによるダウンロード

0120-684-479(フリーダイヤル) http://www.tr.mufg.ip/daikou/

ホームページのご案内

タツモのホームページでは当社の最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報イン デックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下 記のアドレスよりご覧ください。

